



平成 28 年度 オリンピック・パラリンピック教育事業
推進校実施報告書

- 1 学校名 : 熊本市立力合西小学校
- 2 実施日時 : 2017 (平成 29) 年 2 月 9 日 (木)
- 3 対象 : 5・6 年生 145 名
- 4 派遣オリンピック : 高橋千恵美さん (陸上競技 女子 10000m シドニーオリンピック出場)
- 5 授業内容 : 講演+実技

2017 (平成 29) 年 2 月 9 日に、熊本県熊本市立力合西小学校にて、シドニーオリンピック (2000 年) に陸上競技 女子 10000m の代表として出場された高橋千恵美さんをお招きし、ご講演ならびに実技体験を実施していただきました。

はじめに講演では、「夢に向かって」をテーマとし、高橋さんがシドニーオリンピックに出場されるまでの道のりを紹介する DVD を映しながら、当時の思いなどを振り返ってお話しされました。その中で、高橋さんが陸上競技の長距離走に没頭していくようになったきっかけとしては、小学生時代に校内マラソンで 1 年生の時以外の 5 年間すべて優勝したことがとても嬉しかったことがあったそうで、小学 5 年生で既にオリンピックに出場したいという夢を持つようになったと言います。

また、中学生の時には、当時 10000m の代表としてオリンピックなどで活躍していた松野明美選手が、小柄な体格ながら精一杯走っている姿をテレビで観て強く感動し、自分も誰かに感動を与えられるようになりたいと、オリンピックに出場するという夢への意欲をさらに高めたと言います。また、この時に受けた感動が契機となり、競技に対する姿勢も変わり、苦しい練習でも決して諦めないようになったことで少しずつ記録が伸びるようになっていったと語りました。

その後は、中学 2 年生で全国都道府県駅伝大会の宮城県代表に選ばれるなど、着実に競技力を伸ばしていきますが、高校 3 年生の時の地区総体でライバルの選手に負けた時には、走るのを辞めたいと、初めて壁にぶつかったそうです。しかし、自分にはやはり走るしかないとの思いから、実業団に所属して再びオリンピック出場を目指して練習に励み、ケガや貧血に悩まされながらもついにシドニーオリンピックへの出場を果たしたと、15 年越しの夢を叶えた当時の思いを振り返りながらお話しされました。

そして講演の最後には児童に対し「みなさん、夢を持っていますか？」と質問を投げかけながら、夢を持ち、それを自分の周りの人に宣言すること、そして“自分ならできる”と信じて諦めずに努力することが、夢を実現させる原動力になるのだと語られました。また、ご自身も小中学校時代には水泳や卓球をしていたことから、自分の可能性を広げるためにも、色んなスポーツに挑戦してほしいと、講演を聞く児童への願いも伝えられました。

6 授業の様子



「夢に向かって」をテーマにご講演された高橋千恵美さん



講演の後には、ランニングの基本について実技指導もされました



熊本にも寒波が押し寄せた寒い中での実技でしたが、児童は高橋さんと一緒に笑顔で走っておりました



代表児童からの謝辞



集合写真